

# 令和2年度事業報告

自 令和2年10月1日 至 令和3年9月30日

## I. 展覧会

### 1. 第49回「日本の書展」直轄展

令和2年に続き、令和3年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、令和3年1月7日には2回目、4月23日には3回目の緊急事態宣言が発出された。

第49回展の開催披露祝賀会と会期中のギャラリートークについては、これまでの感染状況から、令和2年度事業計画時点から両方の中止を決定していた。しかし、展覧会自体の開催か中止かの決定は、緊急事態宣言の延長や解除、政府や自治体からの要請、美術館や展覧会施設の閉館により決まるため、会期直前まで決定することができなかった。

5月3日から開催予定だった「関西展」は、会期が3回目の緊急事態宣言下となり、展覧会場となるマイドームおおさかに対しても、大阪府からのイベント休止要請があり、昨年につき中止せざるを得なかった。関西展の出品者および関係者には、4月23日付で開催中止の緊急連絡はがきを送付した。

5月20日から開催予定だった「九州展」も、3回目の緊急事態宣言延長時に福岡県がその対象に加わることとなり、展覧会場となる福岡アジア美術館からの要請によって中止せざるを得なかった。九州展の出品者および関係者には、5月11日付で開催中止の緊急連絡はがきを送付した。

6月1日からの「中部展」は、愛知県が緊急事態宣言下にあったが、愛知県からのイベント休止要請もなく、展覧会場となる愛知県美術館ギャラリーも開館していたため、主催者判断で開催を決定した。「中部展」は前回の第48回展が中止となっていることから、今回は出来る限りの感染予防対策を行って開催に臨んだ。

6月10日からの「東京展」も、東京都は緊急事態宣言下にあったが、美術館や博物館の閉館要請が緩和された直後に当たり、展覧会場となる国立新美術館が開館となったため開催を決定した。

49回直轄4展の出品者総数は3,555名で、48回展の3,665名に比べて110名減少した。関西展（招待・秀抜選）の960点、九州展（招待・秀抜選）の327点、計1,287点は残念ながら展示をすることができなかった。関西展委嘱と九州展委嘱は、東京展でのみ展示をすることができた。

展示ができなかった関西展招待および秀抜選、九州展招待および秀抜選出品者からの協賛費の取り扱いについては、開催中止までに発生した経費を差し引き、前々回47回展、前回48回展の支出額を基に算出して、納入された協賛費の約半額、招待には25,000円（消費税込み）、秀抜選には15,000円（消費税込み）が現金書留によって返金された。

入場者数は、中部展1,669名（前回中止、前々回通常開催2,853名）、東京展4,361名（前回4,136名、前々回通常開催8,597名）。中部展、東京展とも緊急事態宣言下での開催だったため、通常の半分程度の入場者数にとどまった。

例年行っている図録1冊（現代書壇巨匠・現代書壇代表・委嘱作品と全出品者名簿を掲載）および出品者本人の作品プロマイド2枚ずつの贈呈は、開催中止決定以前に写真撮影や制作が終了していたため、中止となった関西展・中部展を含む全出品者に送付することができた。

#### (1) 関西展 ⇒ 開催中止

会 期 令和3年5月3日（月・祝）～5月5日（水・祝）  
会 場 マイドームおおさか（1、2階展示ホール A～D）  
主 催 （公財）全国書美術振興会 産経新聞社  
後 援 文化庁  
協 賛 （公社）日本書芸院

関西展は、巨匠16点、代表100点、委嘱41点、招待444点、秀抜選516点、合計1,117点を展示する予定だった。

（参考：中止となった前回48回展の出品総数1,145点）

## (2)九州展 ⇒ 開催中止

会 期 令和3年5月20日(木)～5月25日(火)  
会 場 福岡アジア美術館(7階企画ギャラリー・8階交流ギャラリー)  
主 催 (公財)全国書美術振興会 西日本新聞社  
後 援 文化庁

九州展は、巨匠16点、代表100点、委嘱11点、招待132点、秀拔選195点、合計454点を展示する予定だった。

(参考：前回48回展の出品総数475点、入場者数1,425名)

## (3)中部展

会 期 令和3年6月1日(火)～6月6日(日)  
会 場 愛知県美術館ギャラリー(愛知芸術文化センター8階 A～J)  
主 催 (公財)全国書美術振興会 中日新聞社  
後 援 文化庁 愛知県 東海テレビ放送  
協 賛 (公社)中部日本書道会

開催披露祝賀会とギャラリートークは今回実施しなかった。

中部展の出品数は、巨匠16点、代表100点、委嘱17点、招待197点、秀拔選409点、合計739点、会期中の入場者数は1,669名だった。

(参考：中止となった前回48回展の出品総数764点)

事務局では、消毒液の設置、ガラスケースの定期的な消毒、マスク着用の徹底、共有物を介しての感染を予防するための作品検索台帳や図録サンプルの壁面掲示など、最大限の感染症予防対策を行って対応した。また、会場入口に入場記録カード記入ブースを設置し、入場者の体調確認や、万が一、当展覧会や愛知県美術館内で感染者クラスターが発生した際の追跡用として、氏名や連絡先の記入をしてもらい保管した。

## (4)東京展

会 期 令和3年6月10日(木)～6月20日(日) 6月15日(火)は休館日  
会 場 国立新美術館(展示室1A・1B・1C・1D)  
主 催 (公財)全国書美術振興会 共同通信社  
後 援 文化庁

開催披露祝賀会とギャラリートークは今回実施しなかった。

東京展の出品数は、巨匠16点、代表100点、委嘱50点、招待654点、秀拔選773点、東京展合計1,593点、他展の委嘱(関西展委嘱41点・九州展委嘱11点・中部展委嘱17点)も加わり総展示数1,662点、会期中の入場者数は4,361名だった。

(参考：前回48回展の出品総数1,711点、入場者数4,136名)

国立新美術館では、感染拡大防止のために各入口でサーモグラフィーによる体温測定などの対策をとっていたが、事務局でも消毒液の設置、ガラスケースやソファの定期的な消毒、マスク着用の徹底、共有物を介しての感染を予防するための作品検索台帳や図録サンプルの壁面掲示、アクリル仕切り板付き受付の設置など、最大限の感染症予防対策を行って対応した。

## 2. 第48回および第49回「日本の書展」巡回展

会 期 第48回巡回展 令和2年7月～令和3年4月  
第49回巡回展 令和3年7月～令和4年4月  
会 場 第48、49回展とも地方8カ所の開催計画。新型コロナウイルス感染症の影響で、第48回展は4カ所が中止、第49回展は現時点では開催の方向で準備が進行している。  
主 催 (公財)全国書美術振興会 共同通信社 各地元新聞社  
後 援 文化庁

現代書壇巨匠と現代書壇代表巡回作品(第48回展119点、第49回展116点)については、直轄展終了後、本会・共同通信社・各地元新聞社の共催、文化庁後援により、約1年間をかけて、地方を巡回する。

第48回「日本の書展」巡回展 実施会場一覧

	開催地	地元主催新聞社	会場	会期	地元作品数	入場者数
1	富山 富山市	北日本新聞社	富山県民会館	2.7.16～7.19	開催中止	
2	鳥取 米子市	山陰中央新報社	米子市美術館	2.8.28～8.31	開催中止	
3	青森 青森市	東奥日報社	New's T0-0ビル3階催事場	2.9.4～9.7	開催中止	
4	広島 広島市	中国新聞企画サービス	福屋広島駅前店 8・9階催事場	2.10.1～10.6	開催中止	
5	岡山 岡山市	山陽新聞社	天満屋岡山店 6階 葦川会館	2.10.14～10.19	450	3,078
6	奈良 奈良市	奈良新聞社	奈良県文化会館	3.2.17～2.21	179	3,070
7	長野 長野市	信濃毎日新聞社	ながの東急百貨店	3.3.4～3.9	216	1,747
8	茨城 水戸市	茨城新聞社	茨城県立県民文化センター	3.4.10～4.15	249	1,454

※白部分が、今年度（令和2年度）事業

第49回「日本の書展」巡回展 実施会場一覧

	開催地	地元主催新聞社	会場	会期	地元作品数	入場者数
1	富山 富山市	北日本新聞社	富山県民会館	3.7.15～7.18	138	1,066
2	鳥取 米子市	山陰中央新報社	米子市美術館	3.8.27～8.30	200	568
3	青森 青森市	東奥日報社	New's T0-0ビル3階催事場	3.9.4～9.6	251	588
4	広島 広島市	中国新聞企画サービス	福屋広島駅前店 8・9階催事場	3.9.30～10.5	484	10,316
5	岡山 岡山市	山陽新聞社	天満屋岡山店 6階 葦川会館	3.10.13～10.18	438	2,630
6	奈良 奈良市	奈良新聞社	奈良県文化会館	4.2.23～2.27	—	—
7	長野 長野市	信濃毎日新聞社	ながの東急百貨店	4.3.3～3.8	—	—
8	茨城 水戸市	茨城新聞社	茨城県立県民文化センター	4.4.9～4.14	—	—

※白部分が、今年度（令和2年度）事業

3. 第49回「日本の書展」東京展 公募臨書

会期 令和3年6月10日（木）～6月20日（日） 6月15日（火）は休館日

前期展示 令和3年6月10日（木）～6月14日（月）の5日間

後期展示 令和3年6月16日（水）～6月20日（日）の5日間

会場 国立新美術館（展示室1Dの一部 52～53室の2室）

主催 （公財）全国書美術振興会 共同通信社

後援 文化庁

2012（平成24）年の第40回から東京展に新設・併催された公募臨書も今回10回目となる。出品点数は816点で前回の940点より124点減。例年出品点数900点台を保ち安定していたが、今回減少した原因はコロナ禍にあると想像する。

令和2年12月17日に、国立新美術館審査室で審査委員9名による入選・落選の審査鑑別を行ったが、入選率50%を念頭に置いた審査をし、結果、入選数は364点、入選率は44.6%となった。内訳は下表参照。

出品整理料は前回同様2,000円。入選作品は表具をして国立新美術館の52～53の2室に展示、壁面展示は2段掛けとした。展示後、入選者には表装作品と共に入選證を送った。

第49回「日本の書展」東京展公募臨書 入選数一覧 <展示方法・展示期間別内訳>

	壁面展示	机上展示		計
	たて	よこ	篆刻	
前期展示	134	44	4	182
後期展示	134	44	4	182
入選数合計	268	88	8	364

第49回「日本の書展」東京展公募臨書 入選数一覧 <作品ジャンル別内訳>

	漢 字		か な		篆 刻
	たて	よこ	たて	よこ	
		260	12	8	76
	272		84		
入選数合計	364				

## II. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム(ワークショップ)

名 称 筆もじにトライ! 2021 ~オリジナルうちわを作ろう~

日 時 令和3年7月16日(金)

~~Aコース 10:50~12:00~~ 参加者が少なく、Bコースに合併

Bコース 14:40~15:50 体験者6名

令和3年7月17日(土)

Cコース 10:50~12:00 体験者10名

Dコース 14:40~15:50 体験者10名

令和3年7月18日(日)

Eコース 10:50~12:00 体験者6名

Fコース 14:40~15:50 体験者10名

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター

カルチャー棟2階 「和室1」「和室2」

参加費・材料費 無料

対 象 3歳~小学校1年生までの子ども(保護者同伴)

体験者総数 42名

(3歳6名 4歳16名 5歳4名 6歳1名 小学校1年生(6・7歳)15名)

助 成 独立行政法人国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金より35万6,402円の助成

(2020年も同体験イベントが採択され、78万7千円の助成が出ていたが、コロナ禍のため申請取下げ手続きをして中止とした。)

指導者 芹澤翔華氏、畠田心珠氏、堀一惜氏、宮島翠雨氏

引き続きのコロナ禍のため、各コースの人数を大幅に下げ、また、対象年齢を下げ、小学校1年生までとし、年齢層の幅を狭めることで幼児を中心とする層に絞って実施した。感染症対策の一環の消毒作業時間を確保するために、1日の回数も3回から2回に減らして対応。

体験後に保護者には簡単なアンケートを行ったが、体験内容が子どもに合っていた90%超、体験時間70分間は適当だった95%超、楽しく体験ができた76%超など、高い評価を得ることができた。体験の中で特に子どもが興味を持ったのは、墨磨りと本番の墨書きで、自分で磨った墨で筆文字を書いて物作りをする体験は今後も続けていきたいと思う。

## III. 書写・書道教育推進協議会

活動報告は別紙「報告事項5」にて

## IV. 日本書道ユネスコ登録推進協議会

活動報告は別紙「報告事項6」にて

## V. 日本書道文化協会

活動報告は別紙「報告事項7」にて

## VI. 機関誌および書美術に関する出版物刊行ほか

### 1. 展覧会作品集等の制作

#### (1) 第49回「日本の書展」直轄展

- ① 図録 4, 250部 (前回48回展は4, 300部)  
関西展・九州展の開催中止で前回に続き制作数減。  
現代書壇巨匠・現代書壇代表・全展委嘱作品図版をオールカラー刷りで掲載。  
巻末には、全展招待・秀抜選作家を含む全出品者名簿を掲載。  
出品者には、1冊ずつ贈呈。
- ② 出品者本人の作品ブロマイド 7, 398枚  
展覧会名・姓号入り 2Lサイズ カラー写真 非売品。  
各出品者には、出品者本人のブロマイドを2枚ずつ贈呈。  
(出品者3, 539名×2枚ずつ、現代書壇巨匠16名のみ×20枚ずつ)
- ③ 出品者名簿 関西展 12, 140枚  
中部展 9, 560枚  
東京展 19, 470枚  
九州展 5, 100枚
- ④ 案内はがき 119, 000枚
- ⑤ ポスター 570枚
- ⑥ 外国人向け展覧会概要リーフレット 50枚

#### (2) 第49回「日本の書展」巡回展

図録 (直轄展と同図録) 800部

#### (3) 第49回「日本の書展」公募臨書

- ① 入選者名簿 1, 500枚
- ② 入選證 450枚

#### (4) 第50回「日本の書展」公募臨書

出品要項 17, 000枚

### 2. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム「筆もじにトライ! 2021」の制作

募集チラシ 560枚

### 3. 機関誌「書美術」第38号

4, 150部 令和3年3月1日に発行

### 4. ホームページの更新

## VII. 書美術功労者の顕彰

日本芸術院会員を受けられた高木聖雨代表理事の功労を顕彰し、記念品を贈呈した。

以上